

コーラルテックス施工要領（新築～ボードの上から～コテ仕上げ編）

ご用意いただくもの

- ☐ コーラルテックス
- ☐ 仕上げ用コテ（推奨品 ステンレス製 厚 0.5mm プラスチック製 1.0mm）
- ☐ コテ板
- ☐ ひしゃく
- ☐ 霧吹き
- ☐ アクリル フィーラー ジョイント コンパウンド
- ☐ ファイバー ジョイント テープ 幅 50mm
- ☐ ペーパー ジョイント テープ 幅 50mm（※テーパードエッジ石膏ボードの場合）
- ☐ アク止めシーラー（※下地に木、又はベニヤ板がある場合）
- ☐ 養生テープ（推奨品 養生テープ 24mm 以上）
- ☐ マスカー（推奨品 マスカー 1100mm）
- ☐ ブルーシート
- ☐ スポンジ研磨材 細目（推奨品 スポンジ研磨材 細目 #240 ～ #320）
- ☐ 道具洗浄用ブラシ
- ☐ 空バケツ
- ☐ ペーパータオル

作業手順

① 養生

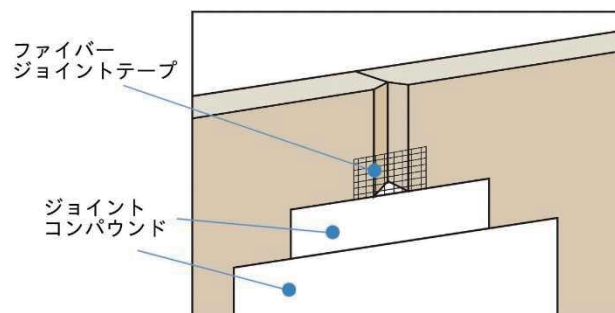
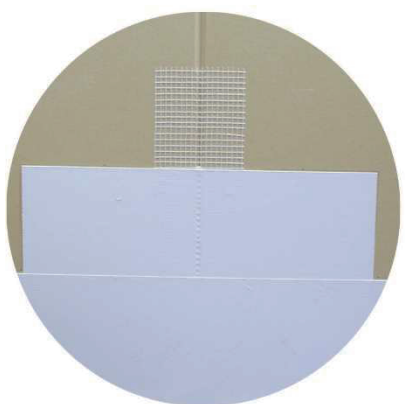
コーラルテックスがついては困るところを養生します。

床はマスカーで、その他は養生テープを使用します。

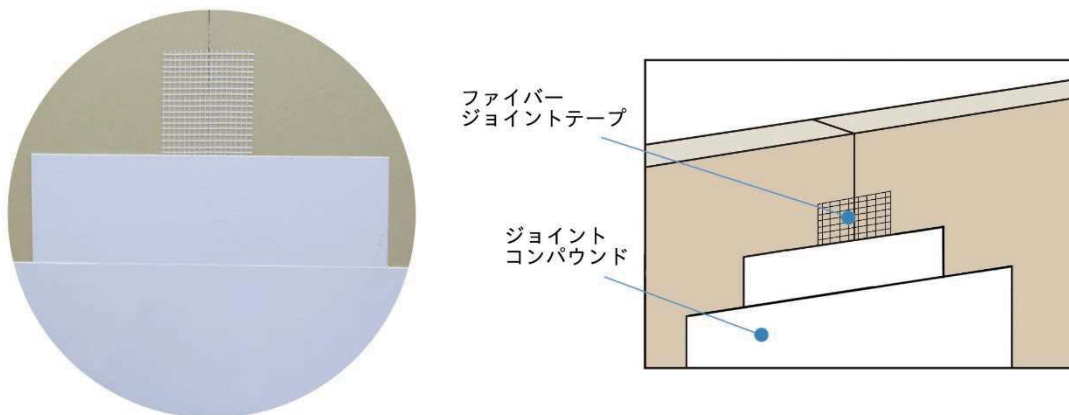
② 下地処理

（ベベルジョイント石膏ボード・石膏ボード突付け部・入隅部・出隅部）

ベベルジョイント石膏ボード



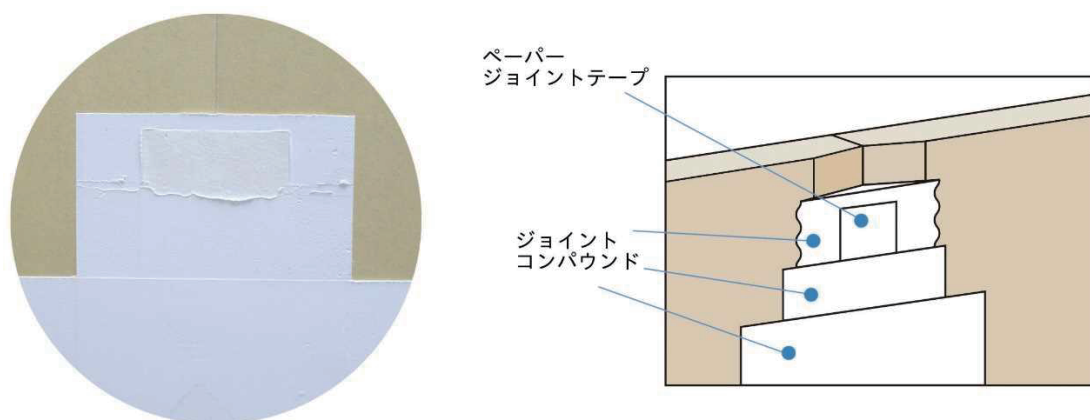
石膏ボード突付け部・入隅部・出隅部



- (1) ファイバー ジョイント テープ（のり付）を石膏ボードのジョイント部、入隅部、出隅部に張ります。テープのジョイントが無いようにテープを張りますが、どうしてもジョイントしたい場合は 100mm 重ねてください。
- (2) アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドを開封し、そのまま（水希釈せず）釘の凹み、不陸（凸凹部）、ファイバー ジョイント テープ上に幅 175mm 暑さ 1.25mm 程度をヘラ又はコテで塗布し、乾燥時間を 5 時間程度取ります。
アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドは、少量の水を霧吹きで吹きかけ、フタを閉めて保管します。
- (3) 乾燥したアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドの大きな凸をヘラ又はコテでケレンをしてください。再びアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドでジョイント部に幅 250mm 程度を目安に出来るだけ薄く、ジョイントが仕上げに出ない事をイメージして不陸（凸凹）を調整します。

② 下地処理（テーパージョイント石膏ボードの場合）

テーパージョイント石膏ボード



- (1) アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドを開封し、そのまま（水希釈せず）石膏ボードのテーパージョイント部 幅 100mm 程度をヘラ又はコテでムラなく塗布し、乾かない内に追っかけでペーパー ジョイント テープを空気がテープの裏面に入らないようにヘラ又はコテでしごきながらテープを圧着させます。テープは、ジョイントが無いように張りますが、どうしてもジョイントしたい場合はアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドを介して 100mm 重ねてください。
アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドは、少量の水を霧吹きで吹きかけ、フタを閉めて保管します。
乾燥時間を 5 時間程度取ります。

(2) 乾燥したアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドの大きな凸をヘラ又はコテでケレンをしてください。再びアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドでペーパー ジョイント テープ上に幅 150mm 高さ 1.25mm 程度を目安にジョイントが仕上げに出ない事をイメージして不陸（凸凹）を調整します。釘の凹み、不陸（凸凹部）も併せて、アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドを塗布し下地を平滑に調整します。

アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドは、少量の水を霧吹きで吹きかけ、フタを閉めて保管します。

乾燥時間を 5 時間程度取ります。

(3) 乾燥したアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドの大きな凸をヘラ又はコテでケレンをしてください。再びアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドでジョイント部に幅 250mm ～ 300mm を目安に出来るだけ薄く、ジョイントが仕上げに出ない事をイメージして不陸（凸凹）を調整します。



②下地処理のイメージ

③ コーラルテックスの塗布【下塗り】

お手元のコーラルテックスをブルーシートの上で開封し、ひしゃくでコテ板の上にのせて仕上げ用コテで出来るだけ薄く塗布します。

大きな塗りムラは、塗布量が多い状態（厚過ぎる）なので、圧を掛けて塗り伸ばしてください。

この工程で、壁の概ねの凸凹がない状態にしてください。

※ 作業中、コーラルテックスの缶にはフタをのせて、コーラルテックスが乾燥しないようにご注意ください。

使用後は、缶内の縁や側に付着したコーラルテックスをペーパータオルでふき取って霧吹きで水を少量吹きかけてフタを閉めます。（フィルムは捨ててください。）

※ コーラルテックスが付着した養生テープは、この③工程後、乾燥するまえに、一度取り外します。

※ 道具はペーパータオルでコーラルテックスをふき取ってからバケツに溜めた水で洗います。



④ コーラルテックスの塗布【上塗り】

下塗りの工程③が乾いた後（1 日以上を推奨します）、再度①の要領で養生を行います。

コーラルテックスを開封し、乾燥したカスや粉が入った場合は取り除きます。



仕上げ用コテでコーラルテックスを塗布し、ご希望の模様を付けます。

厚みは 2mm 迄です。

※細かい欠点は気にせずに大きな面としての美観を意識してください。

※やや乾燥した箇所を補修する場合、霧吹きで水が垂れない程度に吹き付けて補修をしてください。

⑤ 補修

- a. 出隅（角）などの凸凹や補修したい凸部は、
コーラルテックスの完全乾燥後、スポンジ研磨材 細目
（#240 ～ #320）で研磨して補修を行ってください。
- b. 補修したい凹部には、コーラルテックスの完全乾燥後、
再びコーラルテックスを塗布することも可能です。
この場合、霧吹きで水が垂れない程度に吹き付けて
周囲と馴染むように補修を行ってください。

